

2024.4.11

No1

入社式を終えて

今年是一名の新卒入社があり、4/1に入社式を行いました。毎年新入社員の方には、「嬉しく楽しく働く」にはどうしたら良いか？という点で参考になればと思う事を話しておいていただきます。

ある企業のアンケート結果によれば、新卒入社をされる方は、毎年およそ80数万人、約90万人いるそうです。

きっと希望に胸を膨らませて入社されている事でしょう。

今まで自分が学んできた事や、自分の得意な事が社会にどれくらい通用するのか？その仕事を通じて誰かを喜ばせる事が、果たして自分にも出来るだろうか？と期待や不安があると思います。

しかし... いざ社会人になるとおおよそ50%の人が「楽しくない」と感じ、お金のために淡々と働いているという調査結果が出ています。

そして、おおよそ50%の人が、「楽しくも、つまらなくもない」という回答だそうです。そう考えると、60%を超える人が楽しく仕事が出来て居ない事になります。定年までの間、起きている時間のほとんどが仕事だと考えると、

嫌な時間、楽しくない時間が今後の人生の大半を占める事になってしまいます。そして、キラキラした目で入社してくる後輩を60%の先輩はキラキラしていない状態で迎えている事になります。

(うちの会社はそうではない事を願っています)

そして、どのような心構えで働くか楽しく働かやすいか？という話をしたわけですが、これは先輩の皆さんには何度もしている話です。

① 誰かに貢献している実感を持つ事

・誰かの役に立つ事。 ・誰かに褒められる事。 ・誰かに必要とされる事。

・人から愛される事。 これを仕事で感じながら働く。幸福感が増す。という

日本理科学工業の大山さんの話を交じった、重度の障害を負った子達に働く事に喜びを見出し、働きたいと願った事と、自分が人から何かをして貰うよりも、自分が人に何かをしてあげる事で喜んで貰うならば、自分も幸せを感じるように人間のDNAは出来ているので、仕事の中で日々この幸せを味わうように働くなら、いつも嬉しく楽しく働けるのではないかと

お伝えしました。毎年話をしながら、今の自分はどうか？と考えさせられます。

2024.4.11

No.2

② 正しく成長する

スポーツでも基礎体力をつけている間というのは、本当に辛く、地味で、あまり楽しくないと感じる事を続けなくてはならないものです。もししたら、多くの方はこの部分で諦めたりして転職し、また次の職場で基礎を一から学ぶ事になっているかもしれません。でも基礎体力をしっかり身につけ、地味な練習をやりとげた人は、ふたたびフィールドに出ると、その努力の成果は輝きを放つようになります。サボらなかつた人ほど、努力が報われる瞬間ではないでしょうか？

そうした時に感じる喜びは、また次への努力をする意欲を湧かしたせ、更なる成長へと向かい楽しくなります。ただいわゆる「売れ子」になった時に今度は「心の成長」が問われます。自分の成績、収入のために働いていると、相手に不必要だと思える物をも売ってしまうかもしれません。技術だけでなく「正しい考え方」という道徳感も養わなくてはなりません。これは「生き方」にも直結しているので、売るスキルを身につけるよりも難しいと思います。いつもこう考えたいものです。「例えば自分の親や親友であったとしても、今同じようにこのサービスをすすめるだろうか？ 自分だったら自分の仕事に感謝するだろうか？」結局、こういう仕事を積み上げられる人が信頼を勝ち得て真の成長を遂げる事となり、いつも心が爽やかに楽しく働けるのです。

いつもは成長に関してはごまかして話していませんでした。今年はおう一步進んだ話をしました。技術と精神に磨きをかけ、ふたたび高みに登っていくと社内では他人に関わらず自分の世界で仕事をする「職人」となってしまうかもしれません。確かにそれはそれで楽しい事なのですが、本当の仕事の喜び、楽しさは、自分の技術、会得した道徳感などを人に教え、人を育てる事で味わえると思います。周りへの貢献もふたたび行える事の何倍もの成果を出すので、感謝の量も倍増します。仕事を始める時から、技術だけを教わり続けると、知らず知らずのうちに、「ただこなすだけ」の職人になってしまうかもしれません。先輩達にどんな会社員を目指して働いて行くのか？と普段から一緒に考え、会社のエースとして輝けるよう導いて欲しいと願っています。

2024.4.11

No.3

③働く環境を良くする。

足りない事はかりを考えると、不平不満は無限に湧いてくるものです。もし同じ部署の人がいつも不平不満ばかり言っていると、それは伝染して、いつのまにか店全体の空気に嫌な雰囲気になります。その結果、いくら技術が高く、社会から必要とされる人になっても、この店では働き続けたくない……と感じられてしまいます。

実際にあつた話ですが、「朝起きた時に、また今日もネガティブな話を一日中聞かされるのかと思うと、会社に行きたくなくなる」と、活躍している人が退職してしまうのです。でも逆に職場全体がいつも互いに感謝する習慣が出来ていると、とても気持ち良く働けます。「ありがとう」というシンプルな言葉には大きな力があり、また親切にしたいくなります。

また「ありがとう」と言った側も、今度は自分が何かの助けになりたいと機会を探すようになります。不平不満が生まれる隙を与えません。

先程、職人の話をしました。自分の世界に籠っているとこの感謝の連鎖から取り残されてしまうので気を付けたいものです。

新しく入社したメンバーに厳しいトレーニングをいつ、活動量を増やしている時、お互いに気持ち良く働ける環境を作るよう心掛けるならば、驚くほどの成長が出来るのではないのでしょうか？

私達は親御さん達から大切な家族をお預りしています。

お子様の成長を託されているのです。

是非、数ある会社の中で、「こゝに入社して良かった!!」と感じてもらい、

応援していただける会社でありたいと思います。